



守 破 離

第 14 号
R6.5.11

R6 年度
足高第 2 学年通信

進路講演会「夢の実現を目指して」 ～令和 8 年度大学入試に向けて今から意識したいこと～

①ね ら い 2 年生から受験勉強をはじめるとともに、3 月スタディーサポートの結果をもとに、早期に苦手分野を克服するきっかけにする。

②実施概要 日時：令和 6 年 4 月 25 日（木） 13：25～14：05
講師：ベネッセコーポレーション 大森 様
場所：本校第一体育館 参加者：第 2 学年



③講演内容

- ・順位は相対的なもの、みんながやっていないときにやると上がる。3 年になってからだと、みんな頑張るので、順位が上がりにくくなる。
- ・大学入試は、受かるかどうかではなく、間に合うかどうか！ 高 2 の 1 学期に大学入試を本格的に考えて取り組み始められると、合格率は 90%、2 学期だと 85%、3 学期だと 65%。
- ・今から、特に意識して欲しい事

- 【生活面】
 - ・ 2 日間、およそ 9 時～18 時まで試験を受け続けることができる体力をつける。
 - ・ 緊張した状態でも結果が出せるようにするために訓練。
 - ・ 規則正しい生活を送ること。【重要】
 - 授業・休憩の学習リズムを体に刻み込む。授業を大切に。
 - 授業を大切にしている生徒は合格している。

【学習面】 ・ 国数英の 3 教科の基礎力を完成させる。

年度	2023		2023		2024	
学年	高校 1 年生		高校 1 年生		高校 2 年生	
回	スタホ ¹ 1 年 1 回		スタホ ¹ 1 年 2 回		スタホ ² 2 年 1 回	
コース・科目	国数英 β β β		国数英 β β β		国数英 β β β	
受験人数	240		239		239	
GTZ(人数)	単純	累積	単純	累積	単純	累積
S1	4	4	3	3	5	5
S2	3	7	5	8	6	11
S3	8	15	12	20	10	21
A1	14	29	15	35	22	43
A2	23	52	32	67	28	71
A3	57	109	33	100	70	141

・スタディーサポートの結果から

高校 1 年生できちんと学習に取り組めた生徒の成績が向上している。目標は高く。自分の志望校よりもワンランク上を目指す。目標はあった方がよい。ゴール（志望校合格）から逆算し計画が立てられる。頑張れる。

